

みらかホールディングス株式会社
2017年度（2018年3月期）
第3四半期 業績概況

2018年 2月 2日

※ 本資料では、記載している部分を除いて、日本基準(J-GAAP)に基づく数値にて開示しております。

※ 本資料では、数値は原則として表示数値の単位未満で四捨五入しております。

※ 各事業名については以下のとおり省略する場合があります。

CLT：受託臨床検査事業 IVD：臨床検査薬事業 HR：ヘルスケア関連事業

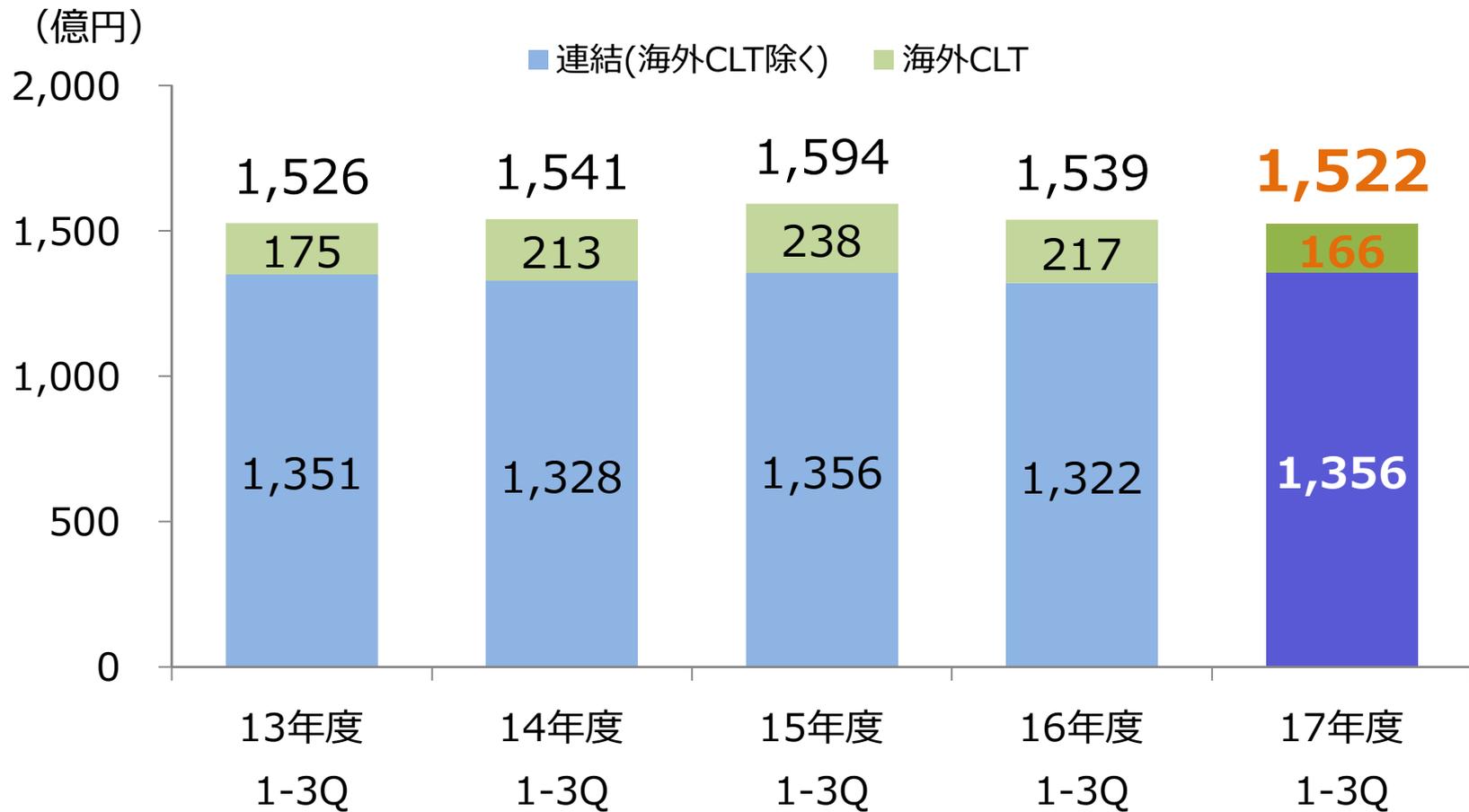
※ 本資料で用いている為替レートは以下の通りです。

2016年度1-3Q：1USD = 106.68 JPY 1EURO = 118.08 JPY

2017年度1-3Q：1USD = 111.72 JPY 1EURO = 128.55 JPY

連結売上高 推移

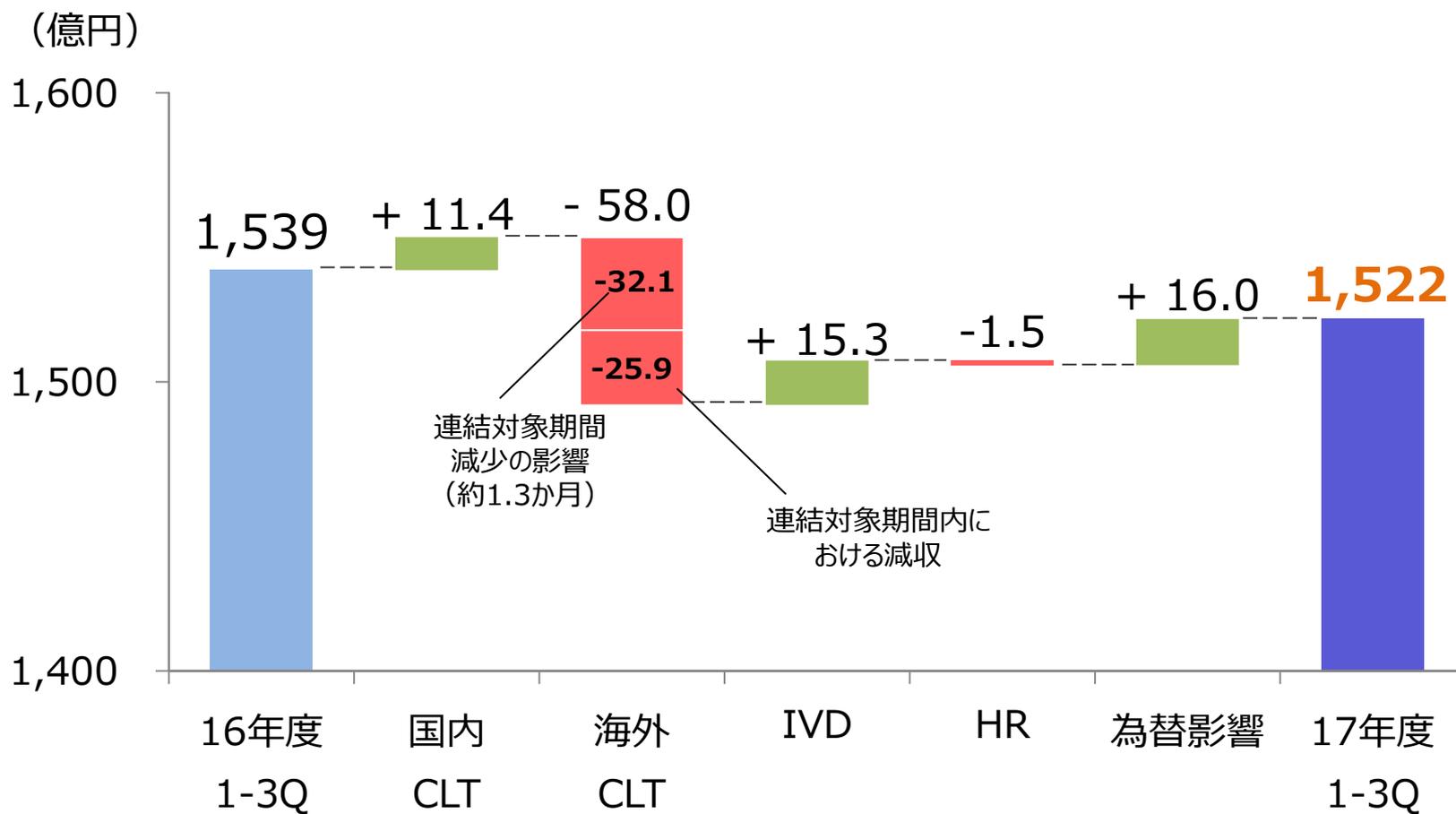
CDxHD(MLS)の連結除外※1により、減収



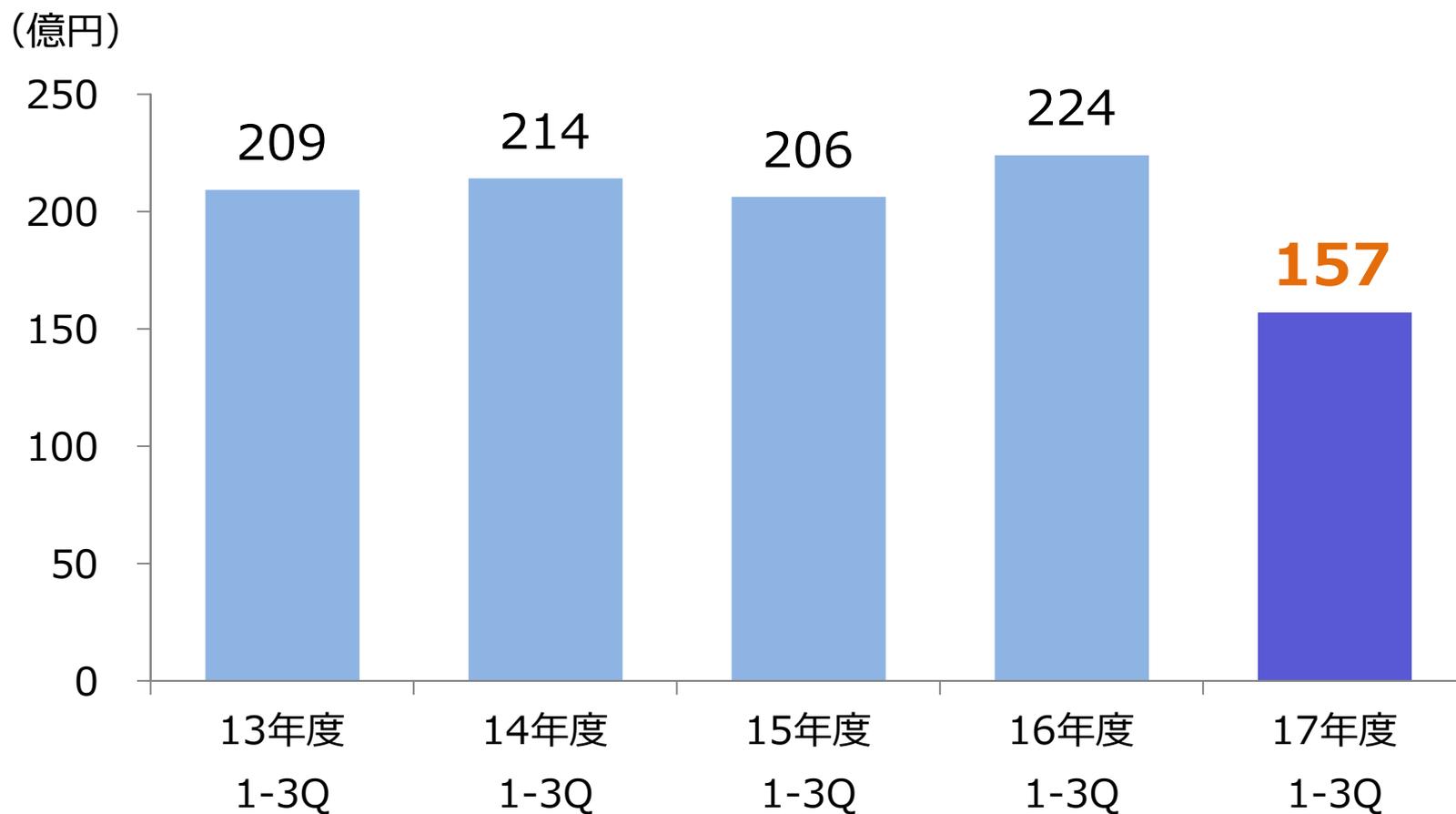
※1 2017年11月20日までの業績を連結

連結売上高 対前年比較

国内CLT、IVDにおいて増収

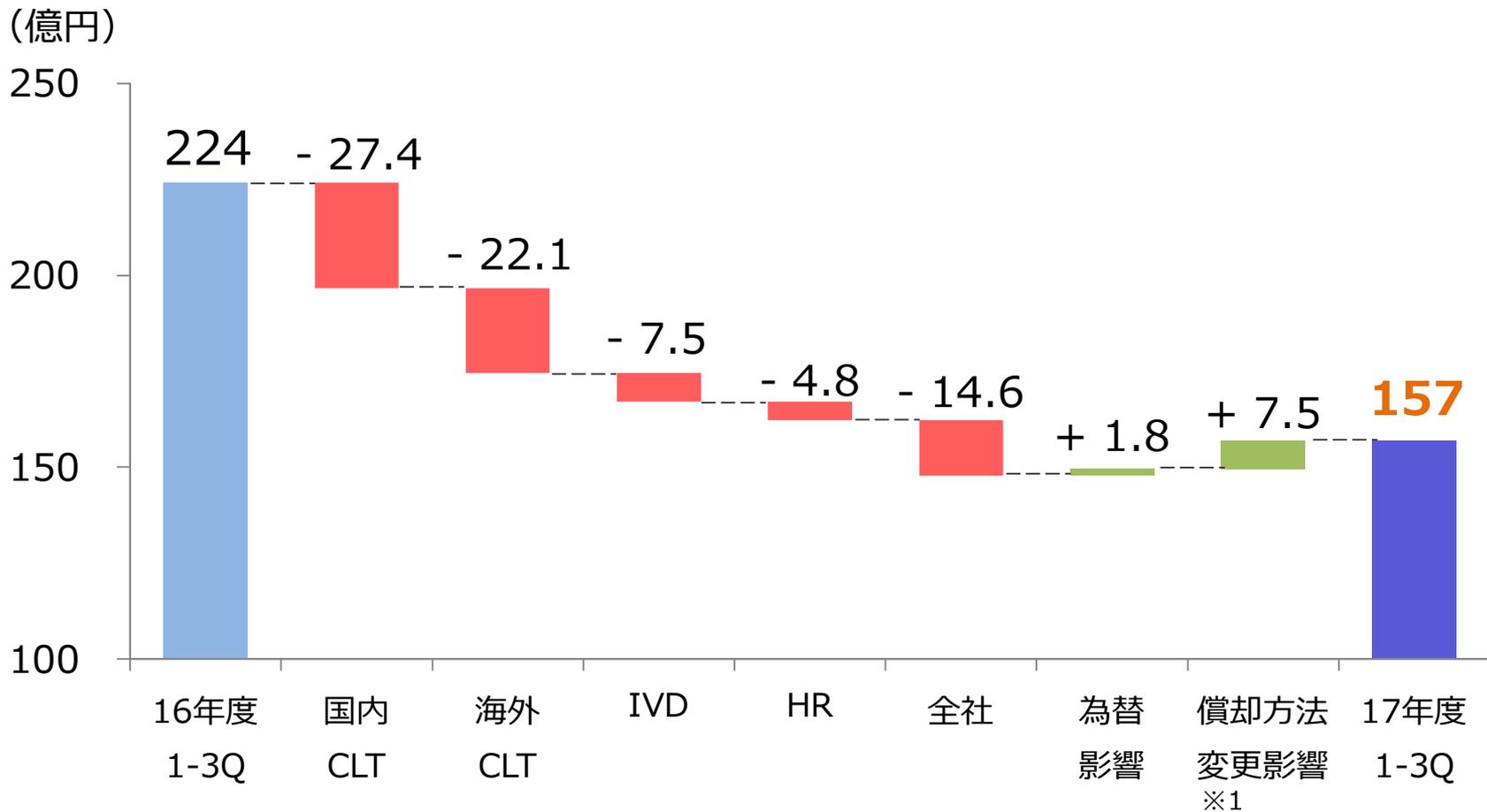


連結営業利益 推移



連結営業利益 対前年比較

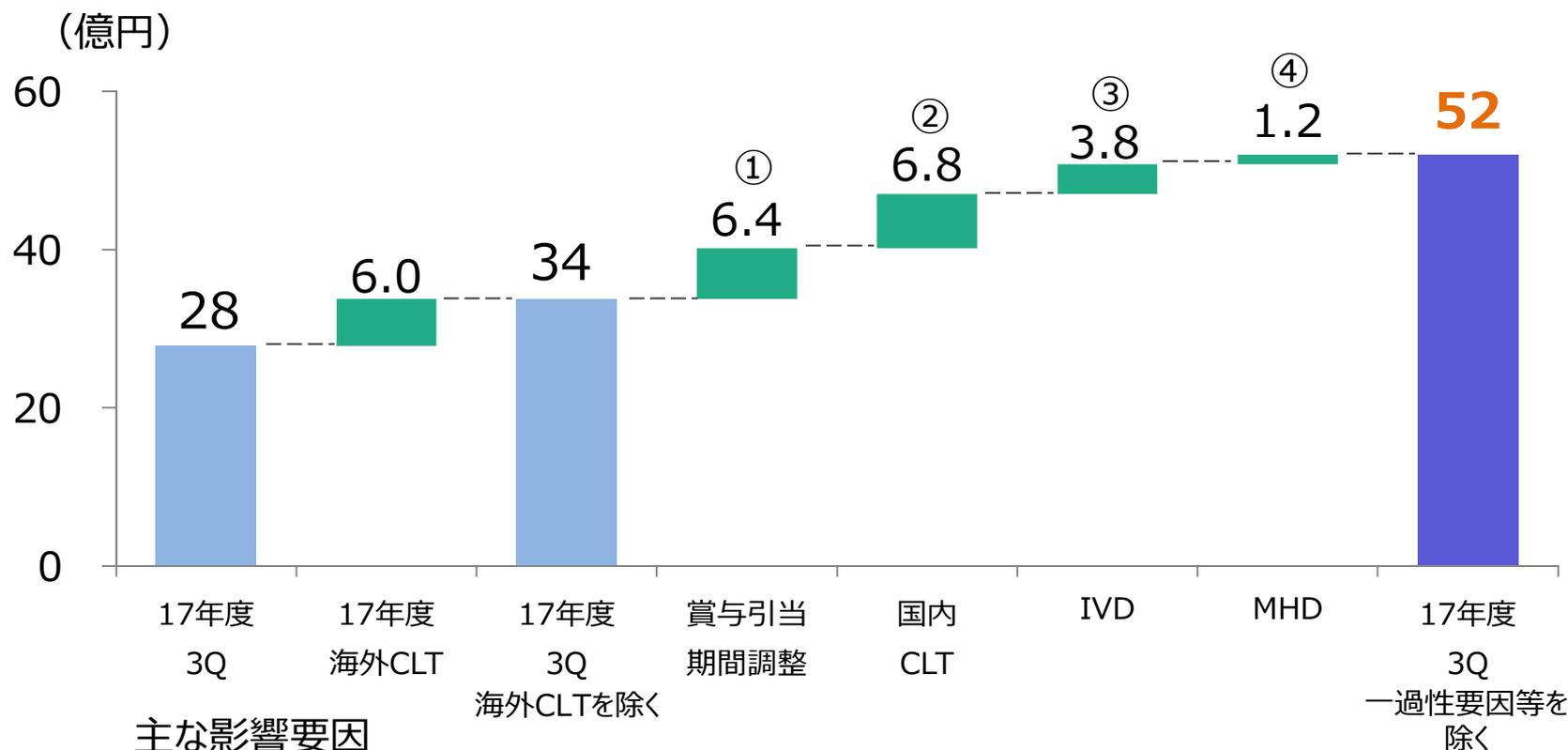
主に国内CLT、みらかHDの経費増により減益



※1 減価償却方法を定率法から定額法へ変更

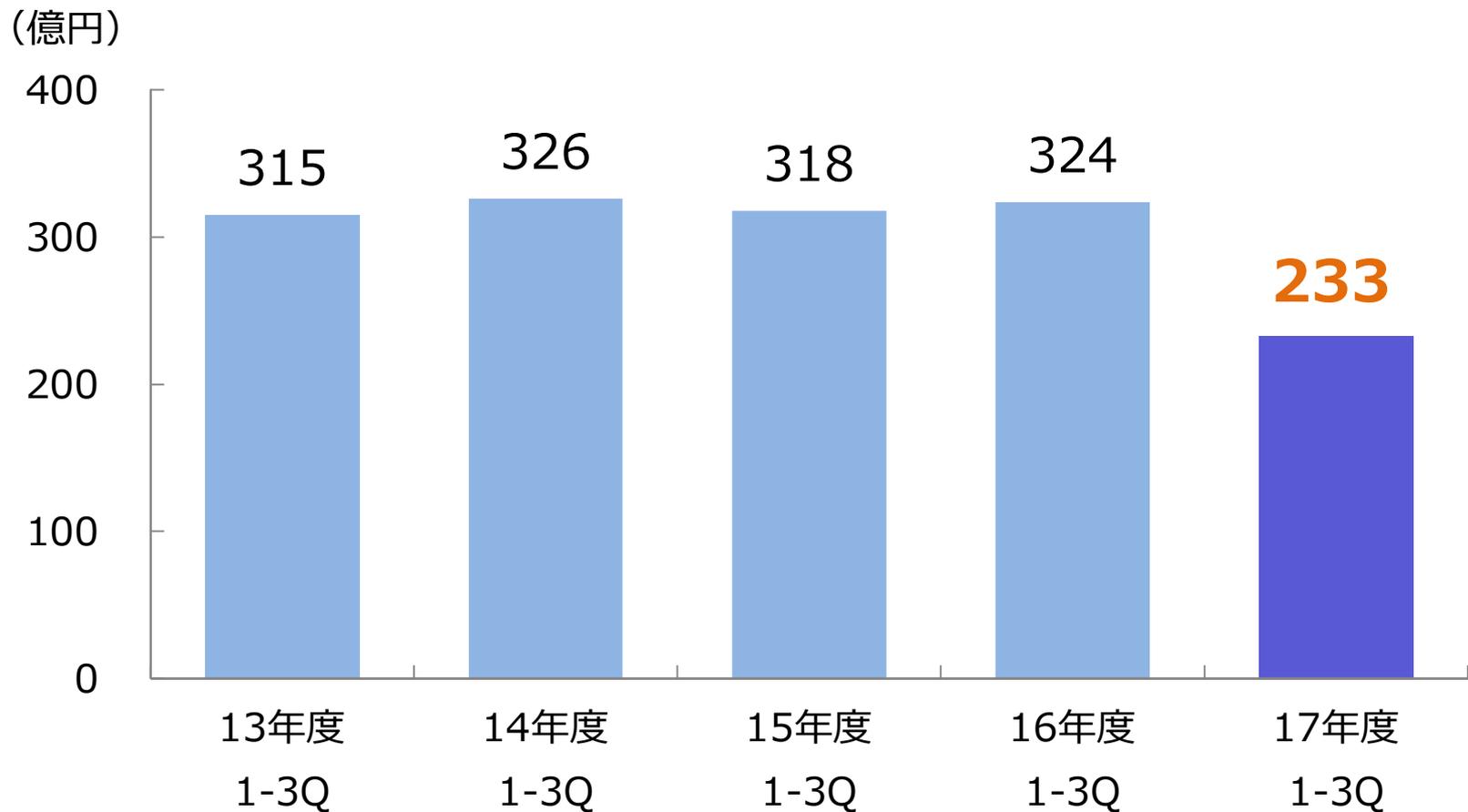
一過性要因等を除いた営業利益

3Qの一過性要因・上期からの期ずれ影響を除くと減益幅は縮小



- ① グループ内人事制度統一に伴う賞与引当金の期間調整
- ② 業務効率改善費用、新ラボ関連費用、貯蔵品廃棄
- ③ 機器設置及びR&D経費執行の期ずれ
- ④ CDxHD売却にかかるアドバイザー費用

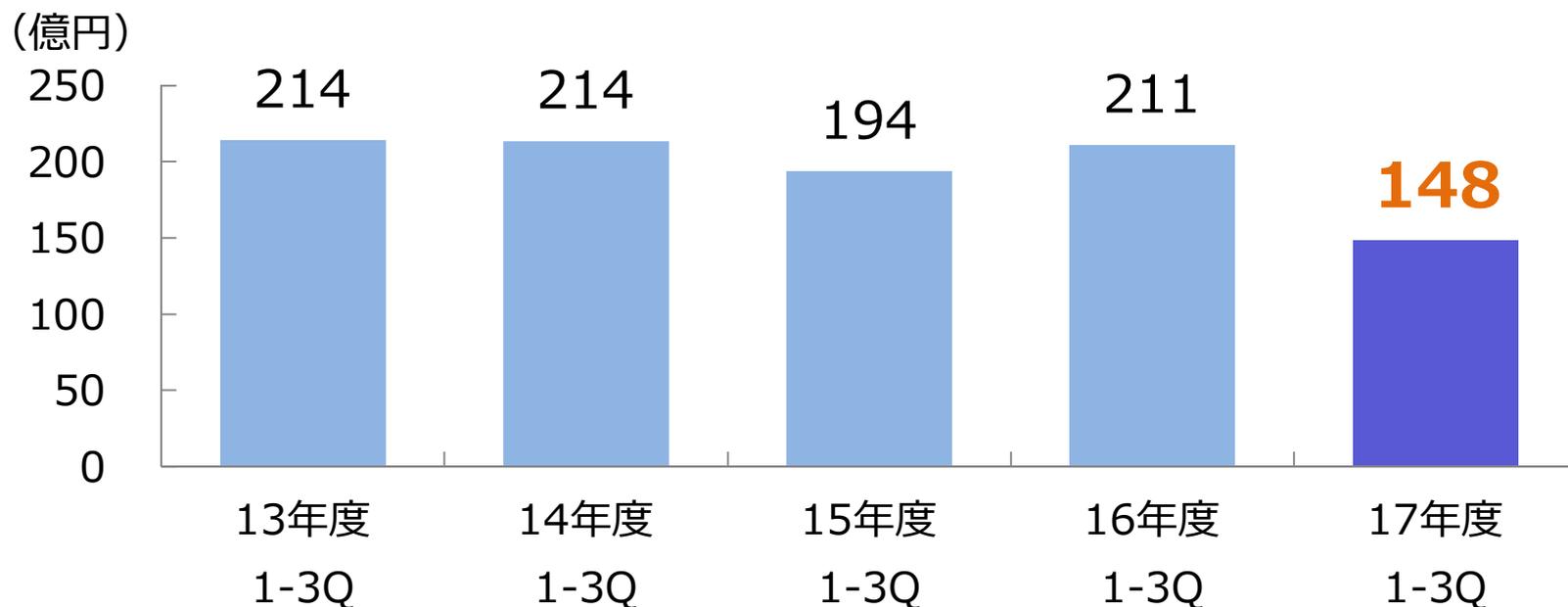
EBITDAの推移



※ EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費

連結経常利益 推移

営業利益減に伴い減益



主な営業外損失

【2016年度1-3Q】

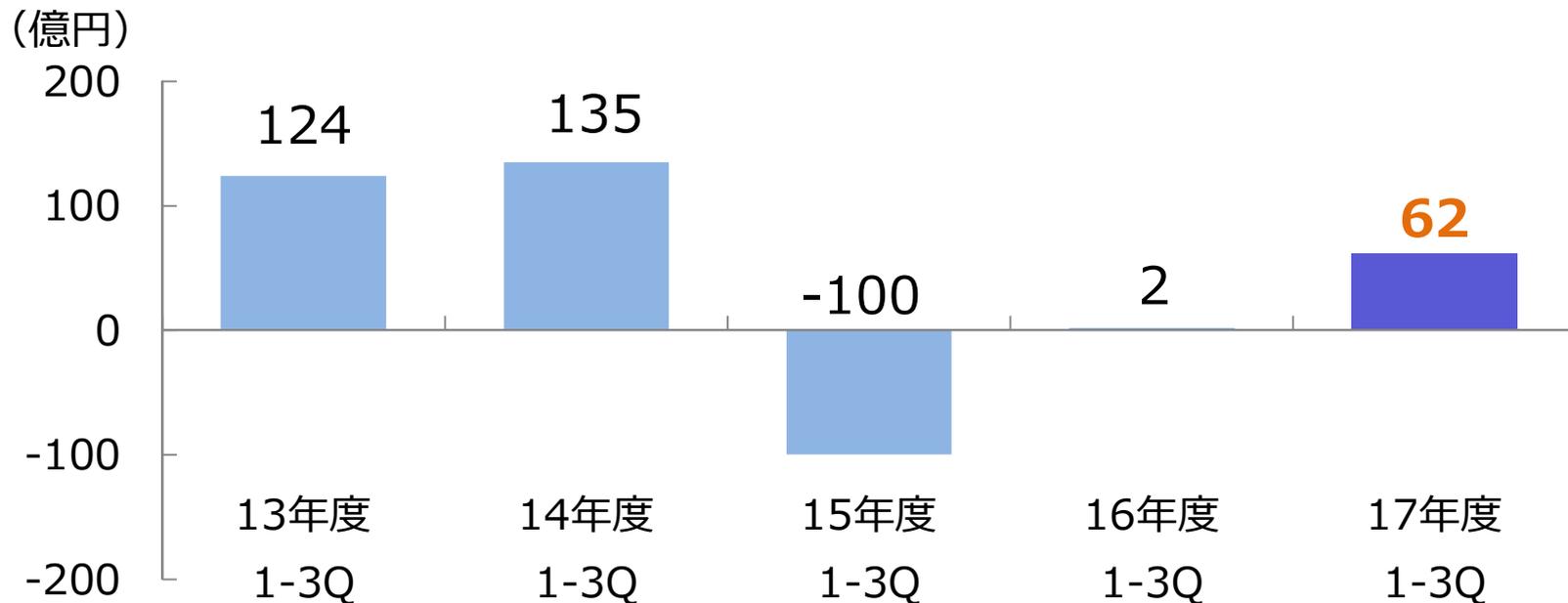
- 持分法による投資損失 -11億円
- 為替差損 -2億円

【2017年度1-3Q】

- 持分法による投資損失 -8億円

連結当期純損益 推移

CDxHD(MLS)売却にかかる特別利益・特別損失により増益



主な特別利益、特別損失

【2016年度1-3Q】

- 訴訟損失引当金繰入 -30億円
- プロジェクト整理損失 -146億円

【2017年度1-3Q】

- 為替換算調整勘定取崩益 +275億円
- CDxHD売却にかかる損失等 -404億円
- 事業構造改善費用(希望退職関連) -26億円

2017年度第3四半期累計業績

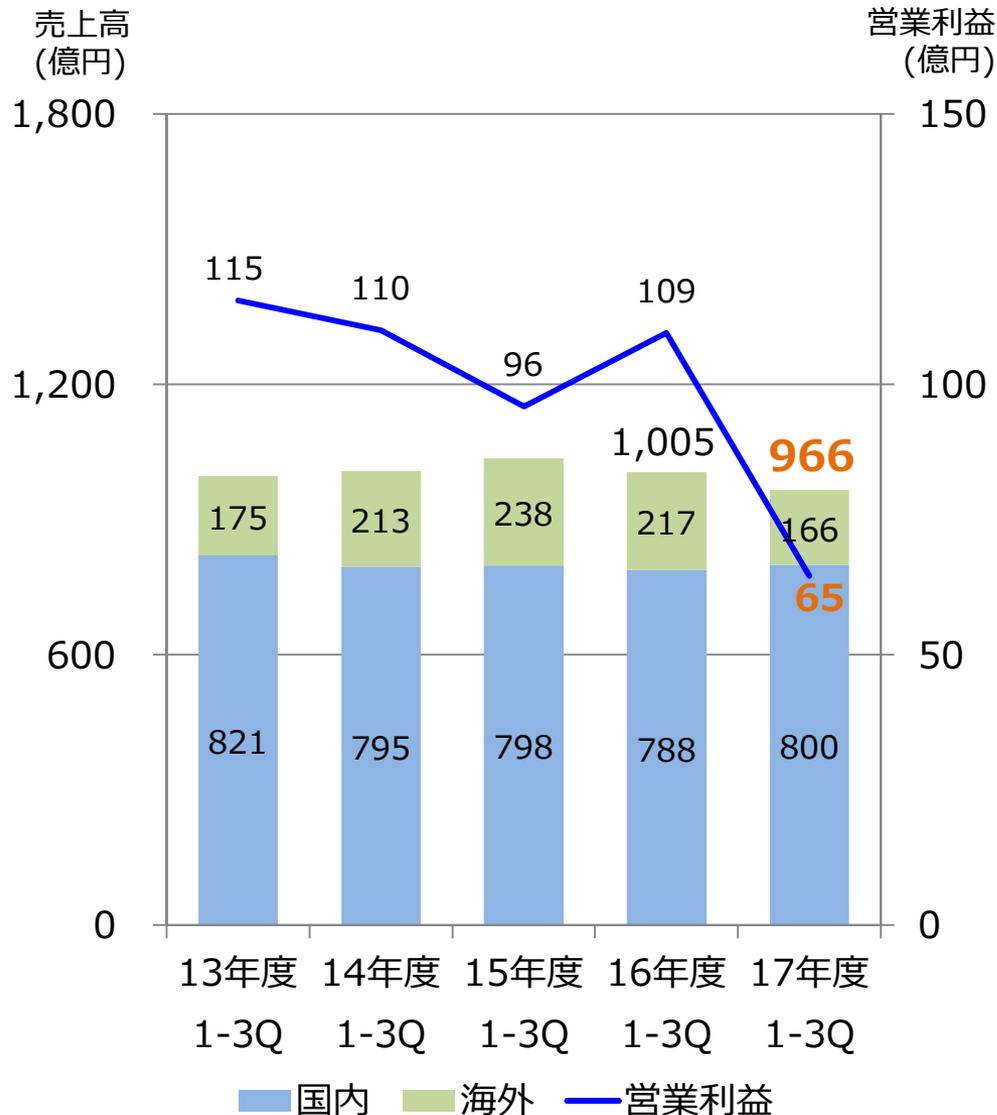
(億円)

	16年度1-3Q	17年度1-3Q	対前年同期増減	
売上高	1,539	1,522	- 16.8	-1.1%
CLT	1,005	966	- 39.4	-3.9%
IVD	320	344	+ 24.1	+7.5%
HR	213	211	- 1.6	-0.7%
営業利益	※1 224 14.6%	※1 157 10.3% ※3	- 67.1	-29.9%
CLT	109 10.9%	65 6.7%	- 44.9	-41.0%
IVD	90 28.2%	87 25.4%	- 3.0	-3.4%
HR	24 11.3%	19 9.1%	- 4.6	-19.4%
経常利益	211 13.7%	148 9.7%	- 62.8	-29.8%
親会社株主に帰属する 当期純損益	2 0.1%	62 4.0%	+ 59.4	-
EBITDA ※2	324 21.0%	233 15.3%	- 91.1	-28.1%

※1 全社費用およびセグメント間取引消去を含みます(16年度：+0.2億、17年度：-14.3億円)

※2 EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費

※3 各項目の右肩数字は、各売上に対する利益率を示しています



減収(-39億円)、減益 (-45億円)

◆ 国内CLT事業

増収(+11.4億円)、減益(-22.4億円)

● 売上

- 新規項目拡販による増収
- 院内事業新規顧客売上の寄与

● 営業利益

- 賞与引当期間調整
- 業務効率改善目的の一過性費用
- 新ラボ関連費用

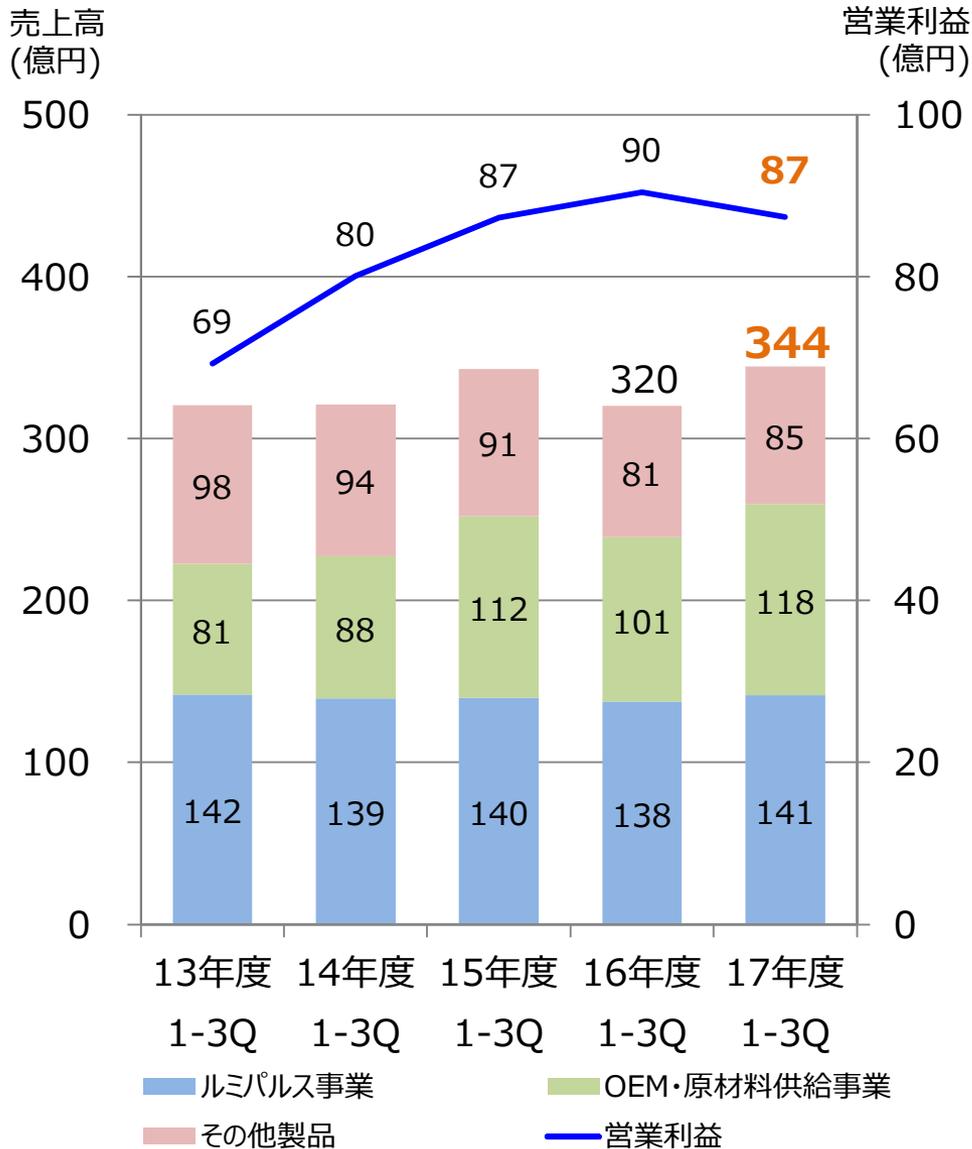
◆ 海外CLT事業

減収(-50.8億円)、減益(-22.5億円)

● 価格下落の影響

● 連結対象期間減少(約1.3か月)

※為替影響(売上) +7.2億円



増収(+24億円)、減益(-3億円)

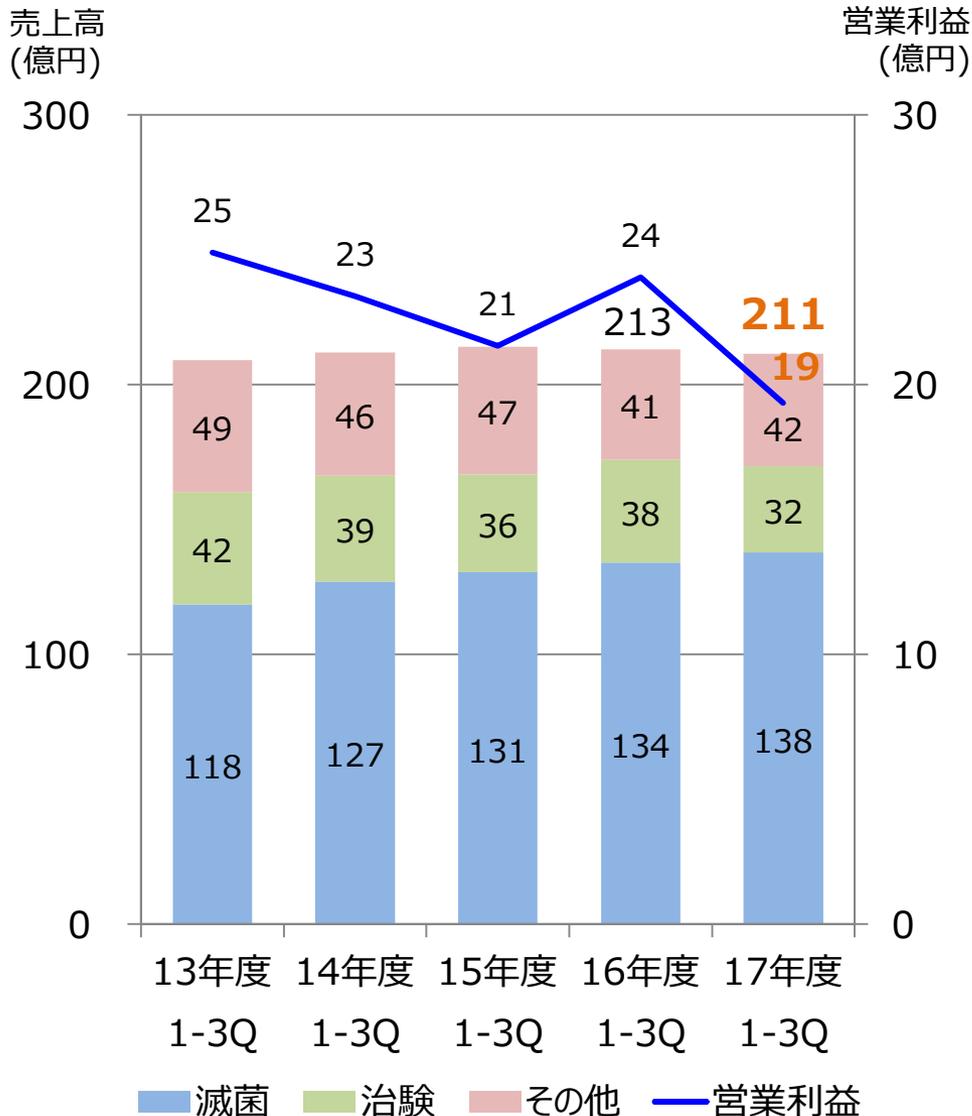
売上

- ◆ ルミパルス事業
 - L2400設置推進により増収
- ◆ OEM・原材料供給事業
 - 堅調に推移
 - 米国事業における一過性要因 (+2.9億円)
- ◆ その他製品
 - 凝固製品の販売による寄与 (仏Stago社製品)

※為替影響 +8.8億円

営業利益

- ◆ 販売・マーケティングに係る費用の増加



減収 (-2億円)、減益 (-5億円)

◆ 減菌事業

増収(+3.9億円)、減益(-5.3億円)

- 新規顧客獲得及び物品販売による増収
- 人件費の増加(事業基盤の強化)

◆ 治験事業

減収(-6.4億円)、利益微減

- 一部受注済みプロジェクトの売上発現遅延による減収

◆ その他事業

増収(+1.0億円)、増益(+1.0億円)

- 一部引当金の取り崩しによる増益

※ 2016年3Qより「その他事業」セグメントの医薬化粧品分析を「CLT事業」セグメントへ移行したことに伴い、過年度実績も同様に調整済み

希望退職者募集の結果について

- ◆ 応募人員数：236名（募集人員：350名）
- ◆ 業績への影響等
 - 特別損失-事業構造改善費用-：26億円
 - 退職日：2018年1月31日

希望退職者募集の内容（再掲）

- ◆ 目的
 - 中期経営計画の実施に向け、組織及び要員を適正化
- ◆ 概要
 - 対象会社：MHD、SRL、FR
 - 対象者：50歳以上かつ勤続1年以上（役職者を除く）
 - 募集人員：350名
 - 募集期間：2017年11月20日～12月22日
 - 退職日：2018年1月31日
- ◆ 優遇措置
 - 通常の退職金に加え、特別加算金を支給
 - 希望者に対して再就職支援

【連絡先】

みらかホールディングス株式会社

IR広報部 TEL : 03-5909-3337

将来見通しに関する注意事項：

資料中の業績見通し数値は、現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣による判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づき作成されたものです。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら業績見通しとは異なる結果となり得る事をご承知おきください。

実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢の悪化、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、新製品上市の遅延、競合会社の製品戦略による圧力、当社既存製品の販売力の低下、販売中止、等がありますが、これらに限定されるものではありません。